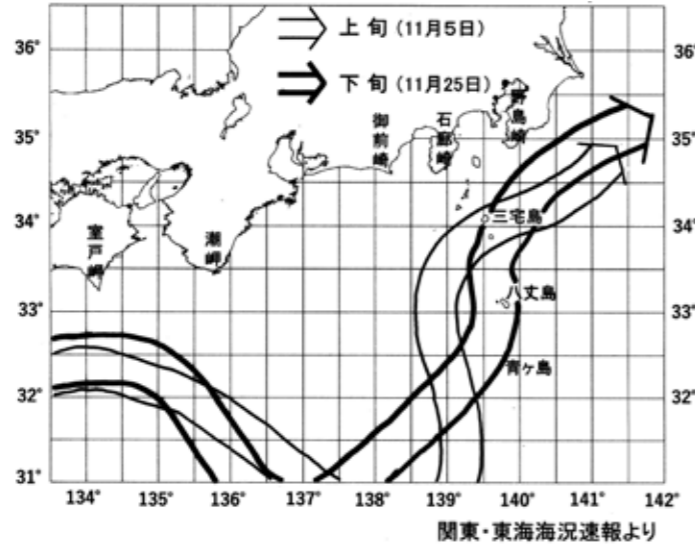


漁海況月報

令和元年 11月 1日

No. 11 ~11月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

11月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	21.0	22.0	20.9	21.9	22.0	22.0
	1.0	1.3	0.7	0.9	1.8	2.2
中旬	20.5	21.3	20.4	21.8	21.0	20.9
	1.3	1.5	1.2	1.5	1.4	2.0
下旬	19.6	20.2	19.1	20.5	19.9	19.1
	1.4	1.3	0.7	1.3	1.3	1.2
月	20.4	21.2	20.1	21.4	21.0	19.1
	1.2	1.4	0.8	1.2	1.5	1.7

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

11月を通じてA型で、上旬は潮岬沖32°Nから南東に進み、30.5°N、138.5°E付近まで南下した後、139°E付近を北上し、三宅島付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖31.5°Nから東南東に進み、31°N、137°E付近まで南下した後、138.5-140°Eの間をS字状に北上し、三宅島付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、30.5°N、137°E付近まで南下した後、北東に進み八丈島付近から北上し三宅島の東140°E付近から北東に流去した。

中旬に三宅島西の黒潮屈曲部から西に向けて暖水が波及し、中下旬に駿河湾沖～遠州灘には22-24 台の暖水が分布した。

【県下沿岸域】

11月上旬は、伊東、稲取、下田、雲見「やや高め」、沼津、焼津「高め」であった。中旬は、伊東、

下田、沼津「やや高め」、稲取、雲見、焼津「高め」であった。下旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津、焼津とも「やや高め」であった。

【竿釣りカツオ】

11月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は24トンで前年同月(17トン)の1.4倍であった。魚価は414円/kgで前年同月(303円/kg)を上回った。

御前崎港で水揚げされた魚体銘柄は、中(3.0~3.9kg)を主体に中小(2.5~2.9kg)、大中(4.0~4.9kg)、小(2.0~2.4kg)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R元年11月上旬	18	10	1.8	382
中旬	5	5	1.0	406
下旬	1	2	0.4	1,314
R元年11月計	24	17	1.4	414
H30年11月計	17	16	1.1	303
H29年11月計	76	37	2.0	606

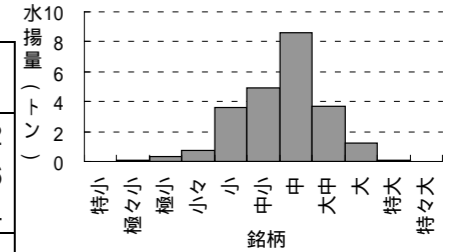


図 御前崎港に水揚げされたカツオの銘柄組成

銘柄:重量目安(kg)

特小:~1.3 極々小:1.3~1.4 極小:1.4~1.6 小々:1.7~1.9 小:2.0~2.4

中小:2.5~2.9 中:3.0~3.9 大中:4.0~4.9 大:5.0~6.0 特大:7.0~8.0 特々大:9.0~

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の漁獲量は155トンで前年の同漁場の漁獲量(112トン)の1.4倍であった。また、1か統あたりの漁獲量は、22.2トンで前年(15.9トン)の1.4倍、平年(昭和57年~平成30年の平均40.2トン)の55%であった。漁獲量の多い漁場は、伊豆山漁場(45.1トン、ブリ、アカカマス、ヒラソウダ)次いで古網漁場(38.3トン、ブリ、さば類、マルソウダ)であった。なお、川奈漁場は台風15号による網破損のため9月より休業中である。

多獲された魚種の漁獲量は次頁(表)の通りで、ブリは53.3トンで前年比17.2倍、平年比6.1倍と前年平年を上回った。漁獲されたブリはわかし銘柄主体で、わかし銘柄の漁獲量は51.2トン、前年比25.2倍、平年比31.1倍と11月の漁獲量としては昭和57年以降最も多く、特異的な入網であった。さば類は29.2トンで前年比1.1倍、平年比41%であった。漁獲されたさば類はゴマサバ主体で、ゴマサバの漁獲量は28.8トン、前年比1.2倍、平年比41%であった。マルソウダは14.8トンで、前年比67%、平年比42%であった。クサヤモロは7.3トンで前年比47.5倍、平年比16.4倍と、11月の漁獲量としては昭和57年以降、平成14年に次いで多かった。アカカマスは5.9トンで前年比57%、平年比73%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の漁獲量の割合は、ブリでは伊豆山漁場が56%(29.9トン)、古網漁場が33%(17.7トン)、さば類では古網漁場が37%(10.7トン)、赤沢漁場が25%(7.4トン)、北川漁場が21%(6.2トン)、マルソウダでは北川漁場が66%(9.8トン)、古網漁場が15%(2.2トン)、クサヤモロでは赤沢漁場が43%(3.2トン)、谷津漁場が33%(2.4トン)、北川漁場が24%(1.7トン)、アカカマスでは伊豆山漁場が50%(2.9トン)、古網漁場が26%(1.5トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	53.3	17.2	6.11	伊豆山、古網
さば類	29.2	1.13	0.41	古網、赤沢、北川
マルソウダ	14.8	0.67	0.42	北川、古網
クサヤモロ	7.3	47.5	16.4	赤沢、谷津、北川
アカカマス	5.9	0.57	0.73	伊豆山、古網

【サバ棒受網】

小川港所属の棒受網船は棒受網で操業した。漁場は上旬に三本に形成されたが、漁況は極めて低調であり、中旬以降、漁場は形成されなかった。ゴマサバの水揚量は34トン(前年同月397トン)であり、1隻あたりの水揚量は2.1トン(前年同月17.3トン)であった。1kgあたり平均単価は128円で前年同月(102円)を上回り、前月(128円)と同額であった。マサバの水揚げはなかった。

水揚量が少なかつたため、市場調査による体長測定は行っていない。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R元年11月上旬		34	3	12		2.8		127	三本
中旬			1	2					
下旬		0	1	2		0.0		215	
R元年11月計		34	5	16		2.1		128	三本
H30年11月計		397	9	23		17.3		102	三宅、三本
H29年11月計		290	8	21		13.8		89	三本、銭洲、三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*「-」は水揚げがなかったことを示す。表中の「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

令和元年秋漁11月の出漁日数は11日(前年は操業なし)、水揚量は51.8トンで1日1ヶ統あたりの平均漁獲量は78kgであった。

主な漁場は焼津沖から相良沖に形成された。水揚げされたサクラエビは、体長39mmにモードを持つ1歳エビ主体で、体長32mmにモードをもつ当歳エビも混じって漁獲された。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	1日1ヶ統あたりの平均漁獲量(kg)	漁場
R元年11月上旬	10.9	5	36	焼津沖～相良沖
中旬	28.5	4	119	焼津沖～相良沖
下旬	12.4	2	103	焼津沖～相良沖
R元年11月計	51.8	11	78	焼津沖～相良沖
H30年11月計	-	-	-	-
H29年11月計	168.8	11	256	焼津～大井川沖
H28年11月計	189.8	7	452	焼津～大井川沖

【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1ヶ統あたりの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が56kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が112kgであった。平均水揚量は82kgと前年同月(223kg)の36.8%、前年同月(過去5か年平均:340kg)の24.1%であった。また、総水揚量は52.9トンで前年同月(363.1トン)の14.6%、前年同月(553.0トン)の9.6%と、前年、前年同月を下回った。平均単価は936円/kgと、前年同月(1,132円/kg)の82.7%、前年同月(723円/kg)の1.3倍と、前年同月を下回り、前年同月を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	1.6	2	20	82	569
舞阪	7.7	5	96	80	658
福田	15.1	6	110	137	617
御前崎	9.3	7	74	126	829
吉田	9.9	8	152	65	1,179
静岡	9.3	10	193	48	1,599
R元年11月計	52.9	38	645	82	936
H30年11月計	363.1	79	1,631	223	1,132
H29年11月計	77.0	53	979	79	1,577

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*前年同月:過去5か年(平成26～平成30年)平均値

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、伊東港では71.0トン(前年同月比43.1%、前年同月比67.5%)、沼津港では0.5トン(前年同月比0.1%、前年同月比0.4%)、静岡港、小川港では水揚げが無かった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港において水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7ヶ統の水揚量は、マイワシは1.2トン、カタクチイワシは水揚げが無かった。

*前年:過去5か年(平成26～平成30年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

11月2日	小川港さば祭り(一般公開)	(1日間)
11月5日～11月7日	地先定線観測調査	(3日間)
11月12日～11月13日	キンメダイ食害調査、サバ標識放流調査	(2日間)
11月21日～11月22日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

3月からホームページのアドレスが変わりました。

httpと://fish-expの間にsが追加され、https://fish-expになります。

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と

関東・東海海況速報を見ることができます。

